

審美治療には欠かせない セラミック素材の色々

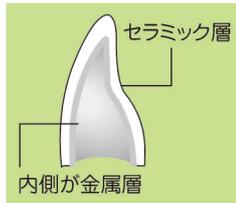


審美歯科治療の詰め物や被せ物に使われているセラミックは、白くてキレイな歯を再現しますが、実はいくつか種類があります。セラミック治療は数十年の歴史があり、近年では多くの改良が加えられた高品質のセラミックも開発されています。今回はセラミックを使った被せ物や詰め物を紹介します。



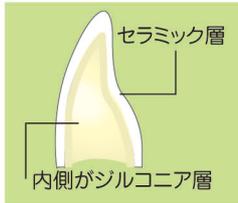
全てセラミック

透明感があり、変色や金属アレルギーの心配もなく、汚れや歯垢が付きにくいので衛生的です。



セラミック+金属

内面が金属なので透明感は劣りますが、丈夫で変色の心配もなく、噛む力が強い方に適しています。



セラミック+ジルコニア

透明感があり、変色や金属アレルギーの心配もなく、汚れや歯垢が付きにくいので衛生的です。内面がジルコニア(人工ダイヤモンド)なので、丈夫で噛む力が強い方に適しています。



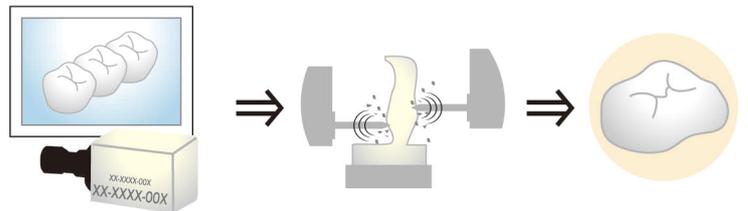
ハイブリッド

セラミックとプラスチックの複合材でできています。セラミックより美しさは劣り、多少の変色もありますが、適度な硬さで咬み合う歯にやさしい素材です。

他にもすべてジルコニアのタイプや機械が被せ物を作ってくれるCAD/CAMも注目されています

CAD/CAMとは

コンピュータによって被せ物などを設計し、セラミックのブロックを機械で削り製作します。歯科技工所のコストがない分、比較的リーズナブルにセラミックの白い歯を入れることができます。



タバコを吸う人は 短い周期で健診を

タバコを吸うと煙に含まれる有害物質が、口の中の粘膜や歯肉から吸収されるため、歯周病のリスクが高くなります。また、タバコを吸っている人の歯周病は、歯ぐきの腫れや出血などの歯周病の典型的な症状を出しにくく、気がつかないうちにみるみる進行していくのが特徴です。このように、タバコは歯周病のリスクが高いため短い周期で健診を受けましょう。



タバコは歯周病以外にも、お口の中に様々な影響を及ぼす可能性があります。

口臭



喫煙者はニコチンやタールの口臭がします。また、喫煙により口腔内が不衛生になっている事が多く、細菌の発する臭いも混じります。

歯ぐきの 変色



タバコに含まれるタールによって、歯は色汚れが付着しやすくなり、細菌も付着しやすくなります。また、メラニン色素が沈着し歯ぐきは黒ずみます。

口腔がん



舌がん・歯肉がん・咽頭がんなど、口腔内のがんの発生率は、タバコを吸わない人より高くなります。